

TRAVEL INFORMATION

November 2017



JL 羽田ーロンドン線増便

日本航空(JL)は、10月29日から羽田/ロンドン線を増便しました。エコノミークラスの座席は横幅、前後間隔ともに+5cmのゆとりを実現し、座り心地に徹底的にこだわった「新・間隔エコノミー」。

JL041便に限り、ラウンジ入室資格をお持ちでないエコノミークラスご利用のお客さまにも以下の条件でラウンジをご利用いただけます。

- ・ラウンジの受付開始時間は23時半以降を予定
- ・サクララウンジ5階のご利用
- ・シャワールームはご利用いただけません

また、JL041便(BA4609便)ご利用のお客さまには、無料で「天然温泉 平和島」をご利用頂けるキャンペーンが2018年3月24日まで実施されております。ご出発の30日前から12時間前までJLホームページにて温泉とバスの予約を受け付けております。



羽田(HND)/ロンドン(LON)線

JL041便	HND 02:45発	LON 06:25着	新・間隔エコノミー
JL7083便	HND 09:45発	LON 13:25着	BA共同運航便
JL043便	HND 11:30発	LON 15:10着	新・間隔エコノミー
JL042便	LON 09:30発	HND 06:25着+1	新・間隔エコノミー
JL7082便	LON 10:45発	HND 07:30着+1	BA共同運航便
JL044便	LON 19:00発	HND 15:55着+1	新・間隔エコノミー

成田(NRT)/ロンドン(LON)線

JL7081便	NRT 12:35発	LON 16:10着	BA共同運航便
JL7080便	LON 13:45発	NRT 10:30着+1	BA共同運航便

ベトナム航空、中部・福岡路線拡充へ

ベトナム航空(VN)は既存路線の増便や機材大型化により、座席供給量の増加に注力する方針を示しました。2017年ウィンターダイヤでは週5便で運航中の中部/ホーチミン線をデイリー化。さらに18年中には、週4便で運航中の福岡/ハノイ線もデイリー化の方針です。これにより、10路線中9路線はデイリーまたはダブルデイリーで運航することになります。

VNは現在、A350-900型機を8機、B787-9型機を11機保有し、羽田・成田・関空からのハノイ線やホーチミン線などで使用中。年内にはA350-900型機をもう1機受領する予定で、日本地区総支配人のヴー氏は「ダブルデイリーの成田/ホーチミン線のうち、日本発午後便はA321型機などで運航しています。これをいずれかの大型機材に変更したい」と意欲を示しています。

マカオ 高額持込・持出の申告義務化

2017年11月1日より、マカオでは12万パタカ(約180万円)以上の持込み・持出しに対し申告が義務化されます。

▽申告対象となるもの

現金、トラベラーズ・チェック、小切手、為替、約束手形

▽申告の対象外のもの

宝石、貴金属

▽申告手続き

マカオ出入境時に「税関申告あり」の赤色レーンに進み、申告用紙に記入・提出。申告漏れが発覚した場合は、罰金が科せられます。

罰金額: 1,000パタカ(約1.5万円)

～最高50万パタカ(約750万円)

▽その他

- * トランジットの短期滞在者は申告不要。
- * 申告手数料は無料。



カジノで大勝されたお客様は、くれぐれもご注意ください。

NH ミャンマー各都市へ当日乗継可能に

成田空港発ヤンゴン空港着の全日空NH813便が、2017ウィンターダイヤ(2017年10月29日～)より、成田11:00発 → ヤンゴン16:30着へ発着時間の前倒しについてミャンマー航空当局の承認を得たと発表しました。

現在、NH813便はヤンゴン空港へ18:30に到着していますが、ヤンゴン空港からネピドー・マンダレー・バガンへ向かうミャンマー国内線最終便の出発時刻は、17:30や18:00発となっています。今回の時刻変更により、10月29日以降はNHを利用して東京(成田)からネピドー・マンダレー・バガン等まで当日中の乗り継ぎが可能となります。

また、ヤンゴン空港への到着便が最も集中する時間帯は18:00～19:00ですが、NH813便の到着時間が18:30から16:30へ前倒しになることにより、ヤンゴン空港の入国審査混雑や着陸混雑の解消にもつながります。



ハワイの名門ホテル「カハラ」が横浜に

ハワイ・オアフ島の名門ホテル「ザ・カハラ・ホテル&リゾート」ブランドが世界展開する第一弾として2020年夏頃、横浜に「ザ・カハラ・ホテル&リゾート横浜」を開業します。

当社社員によるインド・ムンバイ空港の視察（2016年／ANA直行便利用）に基づき、今回は国際線到着から空港の外に出るまでの動線についてご案内します。※次回は国際線から国内線の乗り継ぎ動線をご案内予定です。ご不明な点、また地図や写真だけでは分からない詳細につきましては、ご遠慮なくお問い合わせください。

空港到着から空港外までの動線



①入国審査場入口



入国審査場は入り口側からE-VISALレーン、一般レーン、一番奥に到着ビザレーンの順でビザの種類ごとに分かれています。

②到着ビザカウンターの案内とベルトパーテーション



到着ビザレーンは追いやられた端にある。一般レーンと到着ビザレーンの間はベルトパーテーションで仕切られ閉じられているため、自分で開けて入る。

③通常ビザ到着レーン



成田からの直行便(ANA便)は、到着便が少ない時間帯に着くため、非常に空いている。ほぼ同時着のエミレーツ便によって混雑具合が変わるが、最大待つ30分程度とのこと。この日はすぐに入国審査を受けられた。出入国カードにホテル名のみ記載をしたところ、住所も書くように指示されその場で記入した。

④税関検査場

税関は申告無しの場合“緑のレーン”、申告ありの場合“赤いレーン”を通過する。ノーチェックで通過できた。なおインドは金の取引価格が高いとのことと金の密売を重点的に確認している。



⑤ミーティングポイント



まっすぐ進むと外に出られ、ホテル/ツアー等の待ち合わせポイントとなっている。ミーティングポイントまで車が乗りつけられる構造では無い為、車・タクシーまでは少しく歩く必要がある。

ムンバイ都市概要

インドの西海岸に面するマハラシュトラ州、ムンバイ市街県の都市。人口はインドで一番多く、東京23区とほぼ同じ面積に約倍の人が住んでいる。インド随一の商業都市で、多くの財閥系企業本社・中央銀行の本店が立地し、銀行・保険業も盛ん。旧来からのムンバイ中心部は慢性的な土地不足・渋滞の為、市域が北へ向かって拡大している。